

全国新酒鑑評会にて

10銘柄が入賞

群馬県酒造(協)

4月22日～24日にかけて、日本酒の味や品質を競う全国新酒鑑評会(独立行政法人酒類総合研究所及び日本酒造組合中央会の共催)の審査が実施され、その結果が5月22日に公表された。

今回の審査は、令和元酒造年度(令和元年7月～令和2年6月)に製造された清酒が対象。全国から850点が出品され、433点が入賞、そのうち群馬県から10銘柄が入賞した。

今回の鑑評会では、新型コロナ

ウイルス感染症の影響により、金賞を決める「決審」が中止となったため、金賞は選定されなかった。

【群馬県の入賞酒】

- ・ 鳳凰聖徳(聖徳銘醸株)
- ・ 大 盃(牧野酒造株)
- ・ 船尾瀧(柴崎酒造株)
- ・ 群馬泉(島岡酒造株)
- ・ 赤城山(近藤酒造株)
- ・ 秘 幻(浅間酒造株第二工場)
- ・ 浅間山(浅間酒造株本社工場)
- ・ 土 田(土田酒造株)
- ・ 水芭蕉(永井酒造株)
- ・ 清 暲(株町田酒造店)



入賞酒をはじめ県内の地酒を紹介するHP
<http://www.gunma-sake.or.jp/>

なお、右記のHPでは、今回の入賞酒をはじめ県内の蔵元などを紹介しており、「群馬の地酒デジ

タルパンフレット」をダウンロードすることもできる。

組合創立50周年記念事業

水源保全を目的に

オオヤマザクラを植樹

高崎水道工事業(協)

6月26日、組合創立50周年記念事業として、水源地の環境を保全しようと、高崎市倉沢町の県道長野原倉沢線沿いに、オオヤマザクラを植樹した。



植樹する宮野守一理事長(中央)と行政関係者

本組合は、昭和45年6月に設立以降、共同購買事業、共同受注事業を中心に事業を実施している。

また、高崎市内の漏水等の緊急修繕工事も受託しており、高崎市で無くてはならない存在となっている。

今回行った記念植樹には、組合員の他、高崎市上下水道事業管理者、水道局、烏川流域森林組合などの関係者ら16人が参加。水源涵養林となっている「わらび平森林公園キャンプ場」入口近くで、スコップを手にオオヤマザクラの苗木28本(総額100万円相当)を植樹した。

高崎市からは、こうした水源涵養林の整備への取組みに対して感謝の意が表された。



今回の記念植樹に参加した組合員